



東村山稲門会
会員各位

東村山稲門会会長
大内 一男

今年度の総会は書面審議により実施いたします

やっと思も納まり、コロナ禍の初秋を迎えましたが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。ダイヤモンド・プリンセス号から新型コロナウイルス感染者が出て大騒ぎになってから、はや8か月が経過しました。その間国内感染拡大が進み、国からは緊急事態宣言の発出、早稲田大学及び校友会からは数回に渡って実際に集まったの各種総会・会合・イベント等の自粛要請があり、年内の東村山稲門会主催行事はすべて中止といたしました。

その意を尊重し、東村山稲門会第25回通常総会については書面審議により実施いたします。11月9日(月)頃に書面をお届けし、下記要領にて11月18日(水)までを審議期間といたします。前例のない審議方法となりますがご協力のほどよろしくお願ひいたします。

ニュース臨時号第279号でご案内した「学生への新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急支援金」について東村山稲門会会計からの寄付と併せて会員有志個人としての協力をお願いをしたところ、2ページにご報告の通り多くの会員の方にご協力を賜りました。誠にありがとうございました。母校そして学生を支援し、地域に貢献するとともに、自らも楽しむ東村山稲門会ならではと感謝いたしております。ここにあらためてお礼を申し上げます。

このところ政府施策も市民も感染拡大防止と両立させながら経済活動や日常生活を取り戻す方向に舵を切りつつあるように見えます。人と会う機会が奪われると人々は閉塞感を覚える。コロナ禍多くの人々が感じた思いです。早稲田大学では教育において対面で行う部分が不可欠であると秋学期には一部対面授業を復活させたいと計画しています。

コミュニティの活性化には直接対話、触れ合いが重要とされます。このところ当会会員間の交流もままならず、長年培ってきた関係性が減殺され会の運営も滞りました。そんな中「写真を楽しむ会」「俳句同好会」「テニス同好会」「カラオケ同好会」「早稲田スポーツを応援する会」「ウォーキングの会」「グローバルサロン英語の会」「多摩湖ワイワイおしゃべり会」などメールやオンライン技術を上手に使い、例会や懇親会を開催し交流を図る動きも出ています。ウィズコロナのこれからの新しい稲門会活動のスタイルを示唆しているようでもあります。

コロナ禍を一時期のようにやみくもに恐れるのではないにしても、健康を犠牲にするわけにはいきません。三密を避ける、フィジカルディスタンス、マスク着用等感染防止対策を十分施しながら正しくコロナを恐れ体調管理にお努めいただき、会員間の交流回復を目指してくださるようお願い申し上げます。

記

- (1) 東村山稲門会第25回通常総会(書面審議による開催)
日時 2020年11月9日(月)～11月18日(水)
- (2) 書面審議資料配布
日時 2020年11月9日(月)～11月11日(水) by ポストパーソン
- (3) 審議
議案についてご異議ご質問がありましたら、2020年11月18日(水)までに東村山稲門会副会長兼事務局長 山本岩男 宛 メールか手紙にてご連絡下さい。

※尚、ご承認いただける場合のご連絡は不要でございます。

以上

会からのお知らせ

○令和 2 年 9 月運営会議（ビデオ会議）

日 時 令和 2 年 9 月 25 日（金）14：00～16：00
アプリ ZOOM

○令和 2 年 10 月運営会議

日 時 令和 2 年 10 月 10 日（土）14：00～16：30
場 所 市民センター 密を避けて実施

○幹事の募集

東村山稲門会の第 25 回総会は書面審査で実施されます。今年は 2 年に 1 度の役員の改選期にあたります。来年度の幹事（任期 2 年）を募集いたします。「会のためにひとつ汗をかいてやろう！」とお考えの方は、是非 10 月 9 日までに事務局長までご連絡ください。今、役員の若返りも急務になっております。会員の皆様の積極的なご協力をお願いいたします。

「コロナ禍による学生への緊急支援金」募金に 21 名から 22 万円が寄せられました。

この度の稲門会会員有志による「新型コロナウイルス学生緊急支援」個人募金活動に際しましては会員諸兄弟の格別のご芳志をいただき心から感謝申し上げます。

大学の総長・校友会会長および校友会代表幹事名で発表されたコロナ禍に伴う校友会や稲門会活動の自粛要請 2 月 25 日の第一報に続き、3 月 18 日そして 4 月 3 日と自粛延長が次々に発信され、5 月 22 日には実際に集まって行う全ての稲門会活動開催の年内中止と次年度延期の措置を発表し、併せてコロナ禍による経済困窮学生の「緊急支援金の新設」とその支援協力が付記されておりました。

なお末尾は「このような辛い時、逆境に強いのが早稲田人であると確信しております。早稲田大学と校友の皆様をはじめとする早稲田関係者が、早稲田精神（ワセダスピリット）を胸にこの世界的な危機を克服し、乗り越えて行けることを心から願っております」と結んでおります。

この活動自粛要請期間の再延長（年内）通知を受けて、急遽 6 月 2 日に当会では ZOOM ミーティングによる運営会議が開催されました。

年内の各種イベント中止を確認し、長期の活動自粛が会員の交流断絶を招かないために同好会の ZOOM ミーティングの導入促進、また今秋の第 25 回総会（一堂に集合しない議案審議）の諸準備日程や運営策などが検討されました。さらに新設の学生緊急支援金に稲門会会計から 10 万円の寄付を決め、併せて会員有志による母校学生への個人募金を募集する提案が承認され、6 月 20 日発行の稲門会ニュース（臨時号 アドレス所有者 103 名はメールにて案内）に募金の趣意等を掲載して、1 口千円、2 口以上、みずほ銀行振込、7 月末日〆切で募金活動を実施しました。

6 月の稲門会ニュース臨時号掲載のみによる募金案内とその締め切りが 7 月末日という制約された条件下での活動でしたが、21 名会員のご芳志による 22 万円の募金が寄せられました。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、経済的な影響を受けた多くの学生への緊急的な経済的支援として大学は一口 1 万円の寄付募集活動を 4 月末から実施しております。

大学の校友会会員向け直接の募金活動とは別途に、当会はこの趣意に賛同して一口千円、2 口以上の少額寄付の募金活動を企図しました。

「経済的な理由で修学を途中であきらめる学生を一人たりとも出たくない」との教職員の強い思いで新設した支援策であり、かつて例がない広範囲な層から 3 ヶ月強の短期間で 5 億円の寄付（8 月 6 日発表）を得たことは大学の歴史に残る活動と伝聞しています。

なお 8 月 11 日に募金額 22 万円を大学の寄付窓口宛に振込みし、また 21 名の寄付者一覧名簿を募金関係事務局に送信いたしました。また、同日 21 名の支援者には謝辞に添えて募金概要を報告しました。ご寄付いただきました会員皆様宛には 8 月 11 日付で既に大学より謝辞挨拶はじめ領収書および寄付金控除等の書類が送付されていることを伺っております。ご確認願います。

ここに今回の募金活動のご報告とご支援いただきました会員諸兄弟に改めてお礼のご挨拶を申し上げます。

コロナ学生支援募金担当
山本 岩男、岡田 一郎
（岡田 一郎 記）

5月・6月・7月お誕生の方々の近況

担当幹事 紅松 容子

コロナ禍により稲門会活動も自粛となりお誕生会も12月迄中止となりましたが、日々をどの様に過ごされていらっしゃるのか伺った所、お返事を頂きました。(敬称略)

5月お誕生の方：吉田 勝、森本 吏、滝川 桜子、松澤 徹、守屋 幸一郎、小池 陽、仲 滋、比留間 光信、青木 淳、相馬 信一、森川 進、当間 一則、青柳 真一、

6月お誕生の方：津野 慶浩、安田 忠治、風間 和夫、市川 彰彦、大内 一男、北原 啓行、石井 光典、吉本 正典、野村 茂樹、塩田 典男、山口 洋司、上 素子、石井 真子、當麻 光子、井原 徹、田口 政澄、加藤 正俊、伊川 浩生、

7月お誕生の方：紅松 喬、高鷲 近、吉田 劭文、藤井 省、前田 恒文、秋山 剛、三宅 良太、小野 浩一、北野 二郎、高橋 一彦、高部 素行、田邊 正史、鍋島 高明、藤田 洋司、松永 常尚、横尾 正宏 (以上47名)



- (吉田 勝) 庭の手入れで例年になく立派な花がさいた。ゴルフにやみつき。
 (森本 吏) 人に接しないよう散歩、運動し、ライン、ズームを勉強したい。
 (松澤 徹) 現役なので自宅勤務もある。誕生会が中止なのは寂しい。
 (守屋幸一郎) 今後の対応大変、でも頑張っって欲しい。東村山は良い所ですね！
 (相馬 信一) 自宅で専らテレビ三昧、昔集めた小説、雑誌等を読んでいる。
 (安田 忠治) 学会の打ち合わせ、専攻分野の文献にあたったりと有意義な日々。
 (津野 慶浩) 外出を控えているので身体がなまりカビが生えそう。体力が衰えている。
 (市川 彰彦) 自粛・自分から進んで行いや態度を慎むこと。過多にならぬよう気を付けている。
 (風間 和夫) 普通の生活が出来ず戸惑っている。89歳！その日その日を大切に生きている。
 (大内 一男) コロナは未曾有の出来事。対応に情報共有出来る様臨時ニュース発行、学生への緊急支援金の寄付に賛同、今季は三多摩支部の副主幹なのでそれに伴う活動をしている。
 (北原 啓行) 在宅勤務が増え仕事の効率化を考える。1月に会社が清算なので就職先求め中。
 (石井 光典) 一日も早い終息を祈っている。
 (野村 茂樹) スポーツ同好会なので自粛には降参している。
 (塩田 典男) 3~5月でかかりつけの医者とお会っただけ、金は医者代のみ。あとはベッド生活。
 (石井 真子) いつも有難うございます。
 (當麻 光子) 普段から家にいるので変わらない生活、家にいるのが好きなんだと再認識。
 (井原 徹) コロナにかからず生き延びることが一番。80歳まで働きたい。
 (田口 政澄) 三密がこんなにつらいものとは思わなかった。外出を控えている。
 (横尾 正宏) ほとんど在宅勤務。子供もリモート授業で家の中がにぎやか。
 (吉田 劭文) 4~6月故郷房州に戻ってすぐ、付き合いのある近所の人から「コロナ持ってくるな。帰れ！」と暴言を吐かれ大ショック。校友会活動の自粛要請の解除を願う。
 (高部 素行) 昨5月に股関節を骨折、今もリハビリ中。84歳で色々な同好会にまだ挑戦。
 (松永 常尚) 今ほど稲門会の存立と活動の有意義を感じた時はない。運営する皆様に感謝。
 (前田 恒文) ゴルフも復活したが運動不足でまわるのが精一杯。庭の植木がサッパリした。
 (小野 浩一) 出社とテレワークでの仕事。休日のジムはウォーキングに変更、日焼けがすごい。
 (三宅 良太) 溜まった新聞を見たり、片付けや母(102歳)や家内の世話、家事に追われる日。

同好会だより

当会会員及びご家族の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

カラオケ同好会

世話人 波多野 敏治 高橋 文子
 黒田 祐司 携帯 080-9567-6994



1) 新型コロナウイルス拡大の為、今年2月の例会以降は活動の中断を余儀なくされました。会員からの要望も有り、下記の通り例会を再開しました。カラオケルームは3密の為、集合せず、ZOOM(テレビ会議)の画面に集結しました。まずパソコンを使いZOOMに参加者が集合する。参加者は各自カラオケを準備する。カラオケ機器があればそれを活用する。又はスマホに好きな曲を検索すると動画だけでなく、カラオケ版も出てくるので、スマホ片手にZOOMの画面の前で歌う。途中参加、途中退室も自由です。

(以下、次ページに続く)

(前ページからの続き)

2) 第 1 回 ZOOM カラオケ例会は 9 月 10 日 (木) 午後 2 時から 4 時までの 2 時間。一部不都合が有りましたが久々に仲間が集まり、お喋り、歌を披露するカラオケは楽しい会でした。欠席者の欠席理由と近況も共有出来ました。

参加者 7 名 (敬称略) と熱唱曲の例 : 大内「夜霧の第 2 国道」「ラブユー東京」、黒田「石狩挽歌」「夢追い酒」、高橋正夫「夏の思い出」「美しい十代」、山本 (岩)「命くれない」「忘れな草をあなたに」、井垣 : パソコン不具合で開催直後挨拶のみ、上町 : 聴取のみ、小菅 : ZOOM 操作指導



3) 第 2 回 ZOOM カラオケ例会は下記の通りです。

日時 : 2020 年 10 月 15 日 (第 3 木曜日) 午後 7 時~9 時

(日中は仕事・趣味に多忙な方の為と黄昏に飲みながら歌う希望者の為)

参加申込み締切日 : 10 月 13 日 (火曜日) 午後 6 時

世話人 : 黒田 祐司・E-mail : yuji-kuroda@msa.biglobe.ne.jp

携帯 : 080-9567-6994 黒田 祐司 (記)

編集後記



○5 月・6 月・7 月のお誕生者の方々から近況報告をいただきニュースに掲載しました。皆様、人との接触を避け、散歩・読書・庭の植木の伐採・在宅勤務等、工夫して生活している姿が読み取れます。東西冷戦時に東ドイツで生活していたドイツのメルケル首相の言葉「行動の自由は大切な基本的人権である」が思いだされます。行動の自由の制限がどんなに人間にとって辛いものか知らされました。

○新型コロナウイルスの感染は、2 波・3 波が発生し、長期戦が予想されています。その様な状況の中、稲門会活動の活動を維持・継続する方策を会員全員で追求しなければなりません。新入会員の募集、役員・同好会の会員の若返りも急務です。来年にかけて会員の皆様と共に、一致協力してこの難局を乗り越えましょう。

(山本 岩男 記)

○現在、定期刊行ニュースは休止中ですが、11 月の臨時ニュースに是非掲載したい方は投稿ください。

送付先 山本 岩男 FAX : 042-391-7976 E-mail : yamamoto.i@jcom.home.ne.jp

メールで投稿される方は、山本以外の下記編集委員にも、同報メールをお願いします。

小菅 宏 hkosuge@asahi.email.ne.jp、滝来京子 k-takirai@jcom.home.ne.jp、藤井 省 satofj00@jcom.home.ne.jp

俳壇

コロナ禍のため自粛生活を余儀なくされている稲門会会員の皆さんに気軽に「俳句」を楽しんで頂くために、選者の気分になって選句をして頂こうと、作者名を伏せて (隠して)、番号で「俳壇」を作成しました。

応募の締切日は 9 月 30 日 (水) です。連絡方法は「この句が良い」と思う 3 句の作品番号、(例 : 10 番) を

世話人 黒田祐司 (柿黒) 宛の電話 : 080-9567-6994 又は Mail : yuji-kuroda@msa.biglobe.ne.jp

までご連絡ください。メッセージも可。

世話人 井垣和太 (稲雀)

九月 選句対象句

① 天の川父の享年超えた日よ

② マイウェイとは成らぬ人生濁り酒

③ コロナでも今年も咲けり彼岸花

④ かしましやいつもと違う虫の声

⑤ 一病の疑ひも晴れ雲の峰

⑥ 召さるる日笑顔で逝かん星月夜

⑦ 鮎寄せの業(わざ)を着に友と酒

⑧ コロナ禍に釣人少な鮎の川

⑨ 洗面台使う人なきへちま水

⑩ 芒原五分休憩木曾古道

⑪ 秋朝の多摩湖と富士を結ぶ虹

⑫ おろおろとコロナの夏を過こしけり

⑬ 戻れざる青春の門大西日

⑭ 一刹那天地切り裂く稲光

⑮ 東京の夜をあらはに稲びかり

⑯ ゴーヤいま窓にミノムシめく容かたち